

平成 31 年・令和元年度 小規模多機能型居宅介護よりそいホーム総括表

法人名	社会福祉法人 秋桜会	代表者	三島木 健	法人・ 事業所 の特徴	職員と利用者が「介護する側、される側」という関係ではなく、共に過ごす時間を大切にし、今「何に困っているのか」に着目して支援している。 小規模多機能型居宅介護のメリットが十分に活かすことができるよう一人ひとりの生活に合わせた柔軟なサービスを提供している。地域行事や活動に積極的に参画し、地域とのつながりを大切に運営している。定着率がよく、永年勤務する職員が多い。
事業所名	よりそいホーム	管理者	筒井 慈子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	5人	0人	0人	3人	2人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のスタッフ会議等でサービス評価の振り返りや改善計画の進捗状況を確認していく。 サービス評価において実施した行事やイベントなどをわかりやすく添付資料として提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 添付資料があり、評価の参考になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善点について具体的な目標をたてているのでスタッフに伝わりやすいと思う。 新人スタッフの個別指導、業務指導に細かな気配りが感じられる。 細かい情報を気づきシートで共有でき非常によい。 全スタッフが各自の評価をしっかりと行っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価項目についての学習の機会を再度設け、理解を深める。特に新人職員には自己評価をゆとりを持って配布し、取り組んでもらう。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が使いやすく、安全に開閉できるように居室の折り戸を引き戸に修繕する。 トイレの床と便器の隙間の汚れ対策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全を第一に居室の折り戸から引き戸への修繕は大変よいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関に施錠されていないので、隣の家を訪問するような気遣いな雰囲気での訪問できる。 どんな用事で訪れても施錠のない玄関、明るく迎えて下さるスタッフの方々、居心地の良い空間に心が和む。 整理整頓がよく、特に靴箱の整頓がよい。 安全性、清潔性の対策ができています。 コロナ対策の換気、消毒も徹底されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の少ない日曜日を活用し、普段できない箇所の清掃を計画的に行う。 コロナ感染拡大予防の対策を引き続き行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動に積極的な参加を心がけ、地域との交流を深める。 満足度調査アンケート結果により、さりげない気配りができるよう全職員で再度自分の行動を振り返り、実践することを心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 多岐にわたり交流が感じられ、頼りになると感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は常に明るく、感じ良く接し、言葉かけが嬉しく感じる。 事業所が受け入れられる地域はどこまでか、職員や運営推進委員はどこまで周知しているのでしょうか。 地域の行事やイベントで見かけると地域を大事にしているのだなと住民として喜びを感じます。 地域の方々との関わりを大事にしているのは良い事だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事やイベントへの参加が難しい状況だが、つながりが切れないように配慮、対策、工夫を検討していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、地域の行事やイベントに参加する。 支援が必要になる前から長寿会等を通して、交流を図るイベントを企画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内で過ごすだけでなく、外出したり、食事に行ったり、刺激があるのはとても良いと思う。 地域に出向き、活動する機会も多く、困り事も気軽に相談できると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの方がどこに住んでいるか話題になります。情報をできるだけ私からもお知らせしたい。 喜び、潤いのある生活を感じてもらえる大事な機会かと思う。必要に応じて家族やボランティアを募る試みをぜひ続けて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出が自粛中だが感染予防を徹底しつつ、ドライブ、散歩等で気分転換を図る。 イベント等が中止になり、地域交流が減る中でも、情報収集し地域への目配りをしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議でテーマを掲示して意見交換を行い、運営の改善につなげていく。 運営推進会議の議事録を職員に回覧し、内容を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の資料として実際にスタッフが使用している排泄、水分摂取のチェック表や家族あての連絡ノート等を見せていただき、日々の取り組みが実感として伝わり、わかりやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の意見を十分取り入れた取り組みをしていると感じます。 会議の度に細かな報告がある。 運営推進委員をやり、施設の事を多く知れた事が勉強になった。 施設の事を外部の方知ってもらうことは大事だと思う。理解してもらう事で協力も得られると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は書面での開催になることも踏まえて、意見交換の方法を工夫する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 地域の消防団員や町内会と協力して、防災訓練などの企画を考えていく。 地域の防災会議に参加して、災害時の支援体制をPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域、特に砂田地区の町内会、消防団と深く関係を持ち、運営推進委員も参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練に参加したが、最近災害が多いので大変重要だと思う。 実際の訓練にも参加したスタッフの手慣れた行動に安心感を抱いた。 今年度は大きい台風も多く、土砂崩れ等の被害を発生し、実際に火災、自然災害があると介護度の高い利用者の避難が課題だと思う。 防災訓練は一度参加したが、土砂災害訓練、食料の備蓄など知らない事が多いと感じた。台風等の災害に対する意見交換が出来ればよいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は介護度の高い利用者の参加は健康管理上、難しい場合もあるが代役を立て、実際の避難を想定してより近い状況で実施する。